

(様式1)

令和4年度指定管理者による公の施設の管理状況評価表

1 施設名 (所管課)
富山県民共生センター 働き方改革・女性活躍推進室

2 施設所在地
富山市湊入船町6-7

3 施設設置年度
平成8年度

4 設置目的
男女の人権が尊重され、かつ、豊かで活力のある社会の実現に寄与するため、富山県男女共同参画推進条例第16条に規定する男女共同参画を推進するための拠点となる施設として設置。

5 施設概要
鉄骨鉄筋コンクリート造 4階建
敷地面積：6,854.05㎡
延床面積：7,640.87㎡

【入居機関】
富山県消費生活センター、富山県不妊専門相談センター・富山県女性健康相談センター、富山新卒応援ハローワーク・マザーズコーナー、富山県婦人会、富山県消費者協会、女性就業支援センター

6 指定管理者
サンフォルテJOIグループ

7 指定期間
5年
平成(令和)31年4月1日 ~ 令和6年3月31日

8 利用者数及び利用(使用)料金収入の状況

(1) 利用者数(人)

H30	R1	R2	R3	R4
4,276	4,025	2,626	3,265	3,446

(2) 利用(使用)料金収入(千円)

H30	R1	R2	R3	R4
31,379	29,106	17,719	22,815	24,446

(3) 利用料金収入見込み額(利用料金制導入施設の場合)

H30	R1	R2	R3	R4
27,881	29,286	29,555	29,555	29,555

9 評価項目

(1) 利用者数・収入の増減に対する評価

・令和2、3年度に新型コロナウイルス感染症の影響等により、落ち込んでいた利用者数、収入は令和4年度は増加した。
・施設利用促進のため、広報誌に貸室のご案内を掲載するとともに、賛助会員に施設利用促進を促すチラシを送付しているほか、施設内に季節感あふれた展示を実施するなど快適な空間づくりに努めている。

(2) サービス向上に向けた取組み

・平成18年度より、県民ニーズや社会経済情勢に即応した事業展開、0歳児からの一時保育の実施、接遇研修等による好感度の高い接遇及び迅速な対応の実施、登録グループとの協働事業の実施。
・平成18年度より、講座ごとに受講者を対象としたアンケートを実施。アンケート結果を元に1か月に1度事業評価会議を開催し、課題や次年度に向けての改善方針を決定し次年度事業に活かしている。
・駐車場が恒常的に少ないことが課題だが、満車の場合は、周辺の有料駐車場案内図を手渡すなどの情報提供を平成29年度から実施している。また、平成18年度より、年に1度開催するフェスティバルにおいては、臨時駐車場として近隣の駐車場を借り上げるなど混雑解消に努めている。
・平成30年度より、希望者にベビーカーの貸出しを行っている。
・令和元年度より、男性臨床心理士による男性のための相談を実施している。
・令和2年度より、新型コロナウイルス感染予防のため、2階交流サロンの机・椅子の間引き、ソーシャルディスタンスの徹底、夜間閉鎖を実施している。また、ドアノブ、エレベーターなど手が触れる箇所のこまめな清掃・消毒の実施、注意喚起の張り紙を行うなどの対応を行っている。
・令和3年度より自動体温検知器を設置するなど、安心して利用者に訪れていただけるよう取り組んでいる。
・令和4年度より研究室貸出用プロジェクター（HDMI接続のもの）を設置し、利用者の利便性を考慮したサービスの提供を行っている。

(3) 利用促進（収入増）に向けた取組み

・平成18年度より、1階展示スペースを活用した展示を定期的に展開するなど、幅広い年代が楽しめるような工夫をしている。
・平成26年度より、施設内に季節感あふれた展示を実施するなど快適な空間づくりを行っている。
・平成29年度より、広報誌への貸室ご案内の掲載や、賛助会員に対する施設利用促進を促すチラシの送付等の施設利用PRを行っている。
・令和2年度より、研修室等での有線LAN環境の整備を進めるなど、利用者の利便性に考慮したサービスの提供を行っている。
・令和4年度よりTwitterを開始し、SNSを活用することで若年層の利用を促進している。

(4) 利用者のニーズ把握や苦情への対応

① アンケート結果

実施方法	施設利用者に向けたアンケートは実施していない。
回答者数	-
結果	-
結果を踏まえた改善事項	-

②その他利用者の声を反映させる取組み

- ・講座ごとに受講者を対象としたアンケートを実施している。
- ・施設利用者に対しては、総合案内に「ご意見箱」を設置している。

③主な苦情と対応

- ・駐車スペースが少ないことに対する苦情が寄せられているが、なるべく公共交通機関を利用していただくよう、利用者への周知に努力している。

(5)個人情報保護の取組み

- ・個人情報については、職員に周知を図っており、適切に取り扱われている。

(6)関係団体との連携

- ・経済団体、企業等との共催による出前講座を実施している。
- ・登録グループとの協働事業を実施している。

(7)施設・設備の維持管理

- ・定期的に保守点検を実施し、適切に管理されている。
- ・防犯上の観点から、防犯カメラの設置を進める必要がある。

(8)危機管理・安全管理などの取組み

- ・職員が定期的に館内を巡視し、施設設備等の目視点検及び不審者がいないかを確認している。
- ・施設設備の定期的な安全点検を実施している。
- ・非常時の避難経路図、緊急連絡網、緊急時対応マニュアルを作成し、避難訓練を実施している。

10 所管課の管理運営確認状況

- ①定期報告の受理
- ②維持管理・運営状況等の担当職員現地確認
- ③個人情報に関するトラブルの有無
- ④危機管理・安全管理上のトラブルの有無

有/無	回数(有の場合)
有	12
有	6
無	-
無	-

【トラブルの具体的内容と対応】

無

11 今後の課題等 (収入確保、経費削減、サービス維持向上等の観点から今後の課題を記載)

- ・ニーズに即した事業を効果的・機動的に展開するため、県民・企業・団体等との一層の連携強化が必要である。
- ・センターの効用を最大限に発揮しながら、効果的・効率的な事業運営に努める必要がある。
- ・今後、富山駅北に富山市が設置する中規模文化ホールが入る複合施設が整備されることから、最新設備をもつ施設への利用者流出に備えて、経年劣化がみられる照明・音響・舞台設備の修繕・更新を計画的に進める必要がある。
- ・駐車場が恒常的に不足している。満車の場合は、周辺の有料駐車場案内図を手渡すなどの情報提供をしているが、サンフォルテ駐車場は無料であることから、サンフォルテの利用者だけでなく、近隣施設(環水公園や県立美術館、富山市総合体育館、オーバードホール等)利用者が駐車することも要因の一つと考えられ、その対応に苦慮している。
- ・環水公園を中心とした富山駅周辺地区の賑わい創出により、観光客をはじめ県内外から多くの人を訪れるが、それとともに、トラブルやアクシデント、犯罪のリスクも決して皆無ではなくなったことから、犯罪抑止に効果のある防犯カメラの設置を検討するなどの治安対策を講じる必要がある。
- ・新規利用者の開拓について、SNSを活用するなど、若年層等への認知度を向上させていく取り組みを行っていく必要がある。
- ・開館から25年以上が経過し老朽化の進行により修繕箇所が増えてきているため、計画的な修繕、機器更新により施設の魅力を創出し、一層の利用促進を図る必要がある。